

行政事業レビューの取組について

- ・行政事業レビューの概要
- ・秋の年次公開検証（「秋のレビュー」）の取りまとめ
（KPIに対応する成果目標設定）

平成27年12月16日

内閣官房行政改革推進本部事務局

提出資料

行政事業レビューとは

行政事業レビューとは

【自律性】

- ① 霞が関の各府省自らが、
- ② 全ての事業を対象に

【透明性】

- ③ 執行実態を明らかにした上で、点検の過程を「見える化」し、

【外部性、公開性】

- ④ 外部の視点を活用しながら点検を行い、

- ⑤ 結果を予算や執行等に反映させる、

取組です。

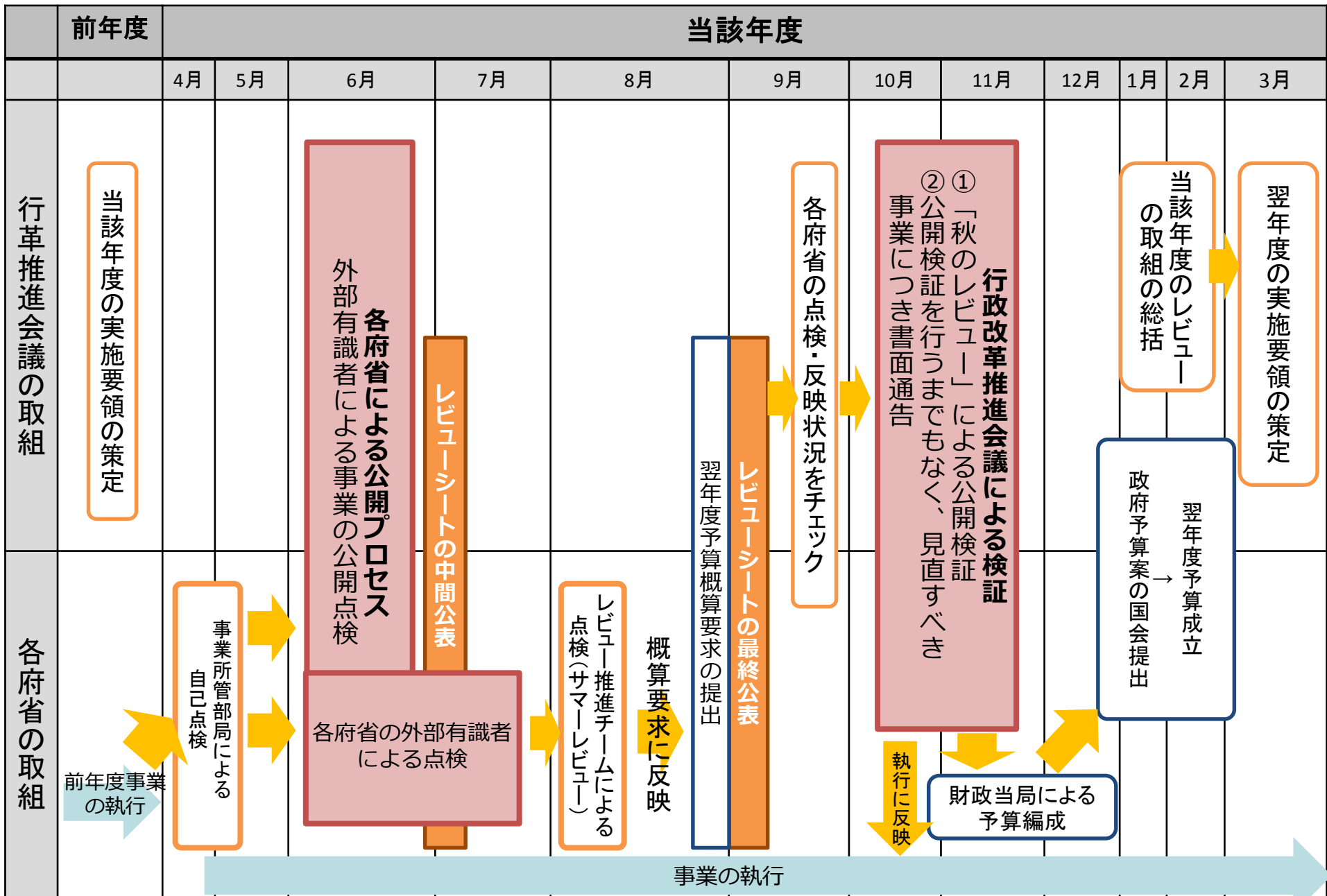
- 無駄の撲滅には、まず各府省が自ら主体的に取り組むことが不可欠
- 毎年、国の全ての事業(約5,000事業)を網羅的に点検し、徹底的、継続的に無駄や改善すべき点がないかチェック

- 全ての事業について、統一した様式の「レビューシート」を作成
事業の執行状況や成果、資金の流れ、自己点検の内容を全面公開
- 点検の内容、点検を踏まえた対応を「レビューシート」上に公開 ⇒ 過程を透明化し、緊張感のあるチェックを実施

- 前年度に新規に開始した事業や事業の終了年度等に当たり継続の是非を判断する必要のある事業を中心に、外部有識者による事業の点検を実施(約1,000事業)
- そのうち一部の事業について、公開の場で事業の点検を実施
(公開プロセス)
- 各府省によるレビュー終了後、行政改革推進会議が、各府省の自己点検が十分かどうかについて、公開の場で検証(秋のレビュー)

- 「点検のための点検」ではなく、点検結果を翌年度予算の要求や事業の執行に反映
- 秋のレビューの結果は予算編成過程で活用

行政事業レビューの年間スケジュール



KPIに対応する成果目標設定

取りまとめ

「医療保険給付費国庫負担金等」(厚生労働省所管事業)

「介護給付費負担金」(厚生労働省所管事業)

- ・ 社会保障制度の持続可能性を高めるためには、骨太 2015 で示された歳出改革を確実に進めることが重要であることを踏まえ、改革の具体的な取組・成果目標とその実施・達成時期や取組を推進するための具体的な手法を明確にした上で改革に取り組むべきである。また、その際には、保険者や地域差の視点も踏まえたデータ分析による「見える化」を行い、それを政策に反映するとともに、国民に提供される医療の質が低下しないよう留意すべきである。

- ・ 「経済・財政再生計画」に盛り込まれた改革工程表に基づき、成果目標の達成度を点検・評価する「KPI」と各府省が所管する個別事業の成果を数量的に把握・評価する「行政事業レビュー」とが「車の両輪」として機能していくことが肝要であることを踏まえ、以下の内容について適切に取り組むべきである。

①KPIは、時間軸を明確にした上で、量的かつ具体的で、改革推進の観点から意欲的なものを設定すべきである。また、行政事業レビューや政策評価との関係を含め、目標達成に向けた政策体系図を整理すべきである。

②KPIとの連動性が高い行政事業レビューシートにおける成果目標の設定に当たっては、ロジックモデルを活用するなどして、KPIとの関連を明らかにすべきである。

③KPIとの関連を明確に記述する観点から、レビューシートの記載事項の見直しを検討すべきである。